

決算説明資料

2021年度 第2四半期決算

岩崎通信機株式会社

**あらゆる人やモノを繋ぐコミュニケーションで、
生きがい溢れる社会創りに貢献する**

We connect the world,
striving towards building
a society for tomorrow.

◇2021年度 第2四半期実績

1. 連結業績
2. セグメント別業績
3. 連結貸借対照表
4. 連結キャッシュフロー

◇2021年度 通期業績予想

5. 通期業績予想・配当予想
6. 投資予想

◇トピックス

7. 当社の新たな取り組みのご紹介

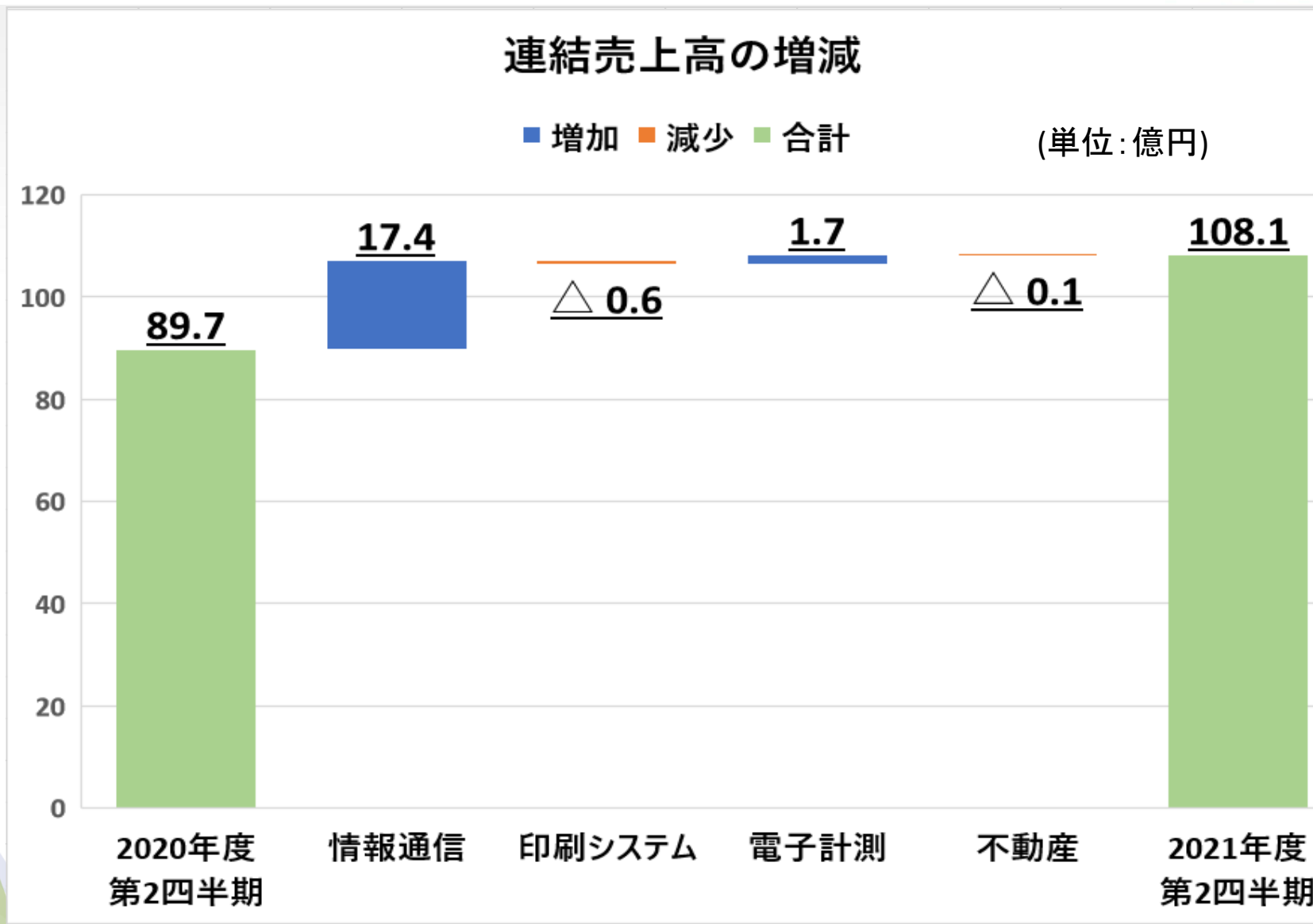
2021年度 第2四半期決算 (2021年4月～2021年9月)

1-1. 連結業績

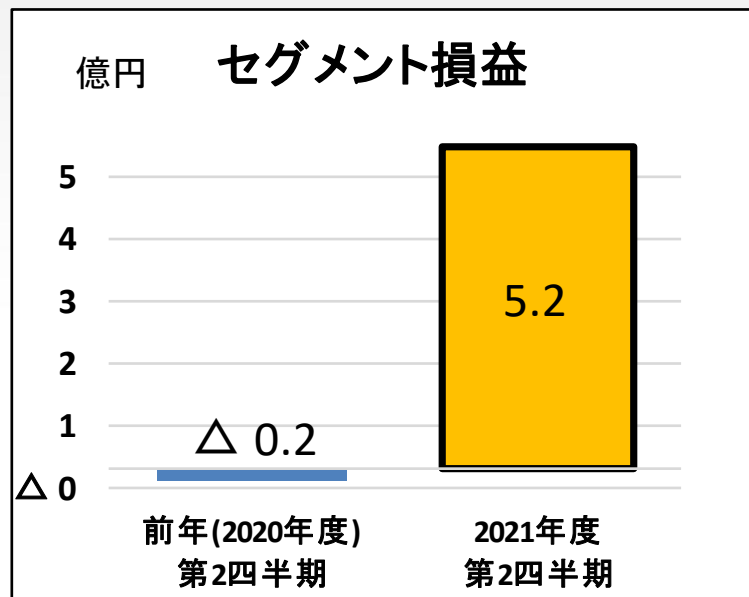
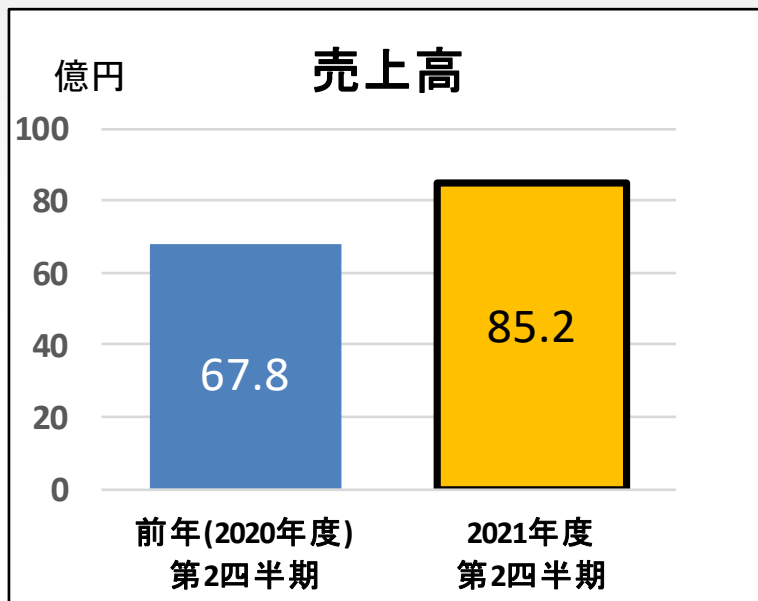
(単位：億円)

	前年（2020年度） 第2四半期	2021年度 第2四半期	増減
	実績（連結）	実績（連結）	
売上高	89.7	108.2	18.5
情報通信	67.8	85.2	17.4
印刷システム	8.4	7.8	△0.6
電子計測	11.3	13.1	1.7
不動産	2.1	2.1	△0.0
営業利益	△8.5	△2.8	5.6
情報通信	△0.2	5.2	5.4
印刷システム	△1.0	△1.2	△0.3
電子計測	△0.8	0.1	0.9
不動産	0.9	0.3	△0.6
調整額	△7.4	△7.2	0.2
営業外損益	0.5	0.7	0.2
経常利益	△7.9	△2.1	5.8
特別損益	1.3	0.6	△0.6
法人税等	0.1	△0.1	△0.3
当期利益	△6.8	△1.4	5.4

1-2. 連結業績



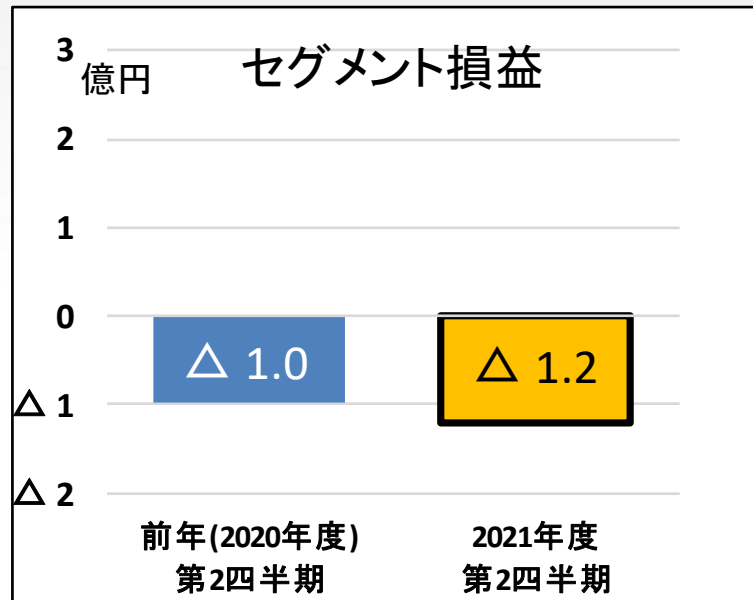
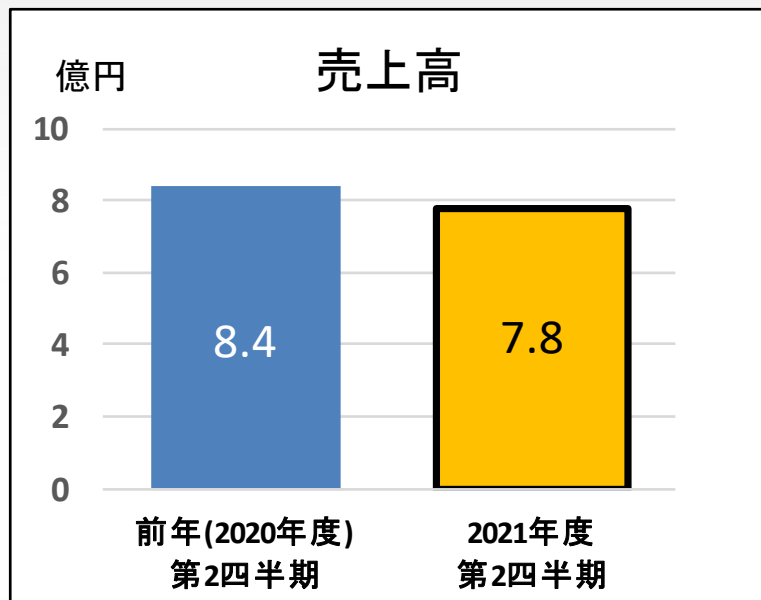
2-1. セグメント別業績（情報通信）



- 売上高は、主力製品であるビジネスホンと生産子会社における受託生産の売上高が増加したことにより、前期比+17.4億円の増収。
- セグメント利益は、売上高の増加に伴い、前期比+5.4億円。



2-2. セグメント別業績（印刷システム）



- 売上高は、主に印刷関連機器及びコロナ禍の市場低迷による消耗品の売上高が減少したことにより、前期比△0.6億円の減収。
- セグメント利益は、売上高の減少に伴い、前期比△0.3億円。

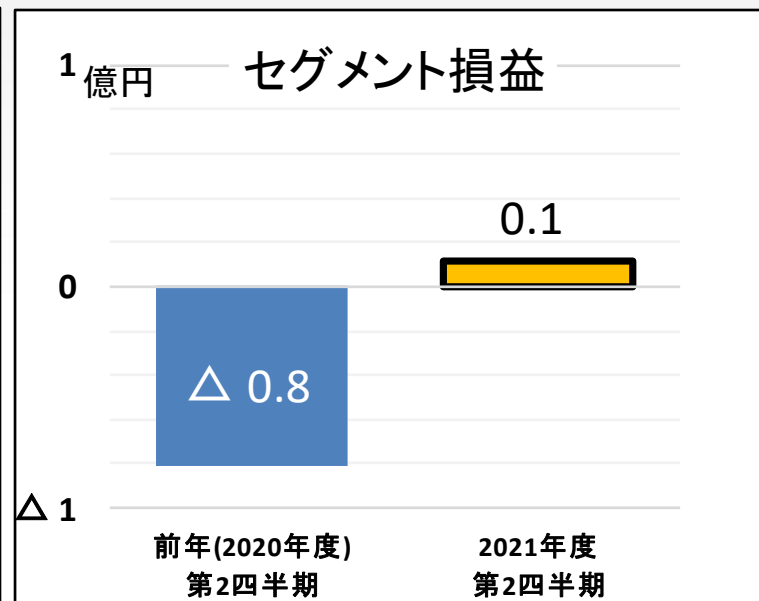
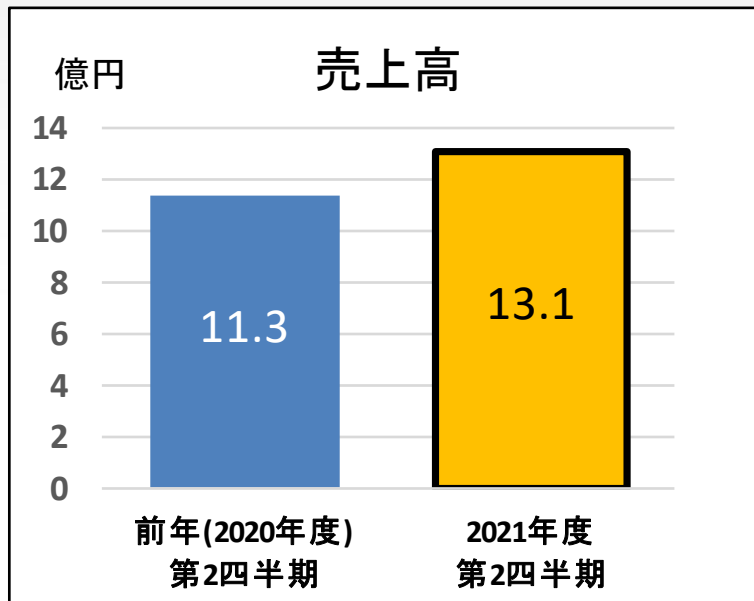


産業用デジタルラベル印刷機
LabelMeister
EM-250W/EM-250A



アルコール除菌剤
「ALMEE」

2-3. セグメント別業績（電子計測）



- 売上高は、主にパワーエレクトロニクス関連の売上高が増加したことにより、前期比+1.7億円の増収。
- セグメント利益は、売上高の増加に伴い、前期比+0.9億円。

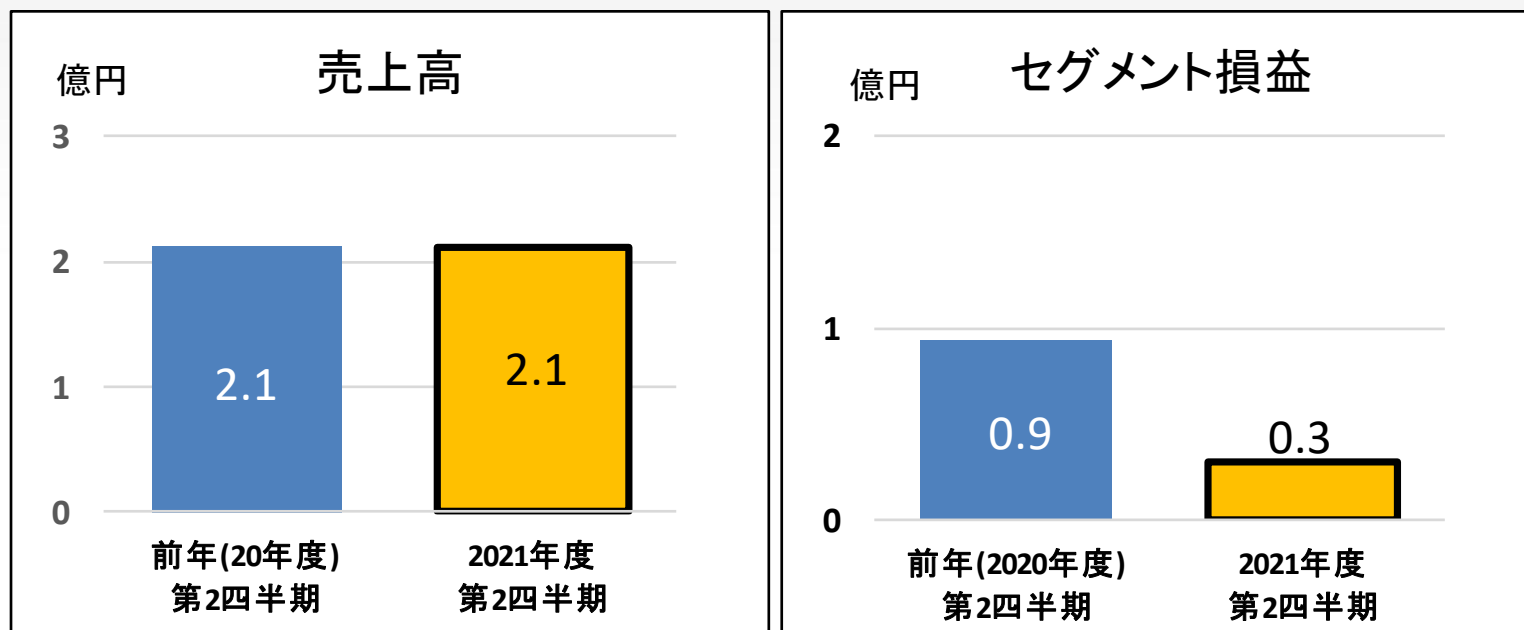


デジタル・オシロスコープ
DS-8000シリーズ



半導体カーブトレーサ
CS-8000シリーズ

2-4. セグメント別業績（不動産）

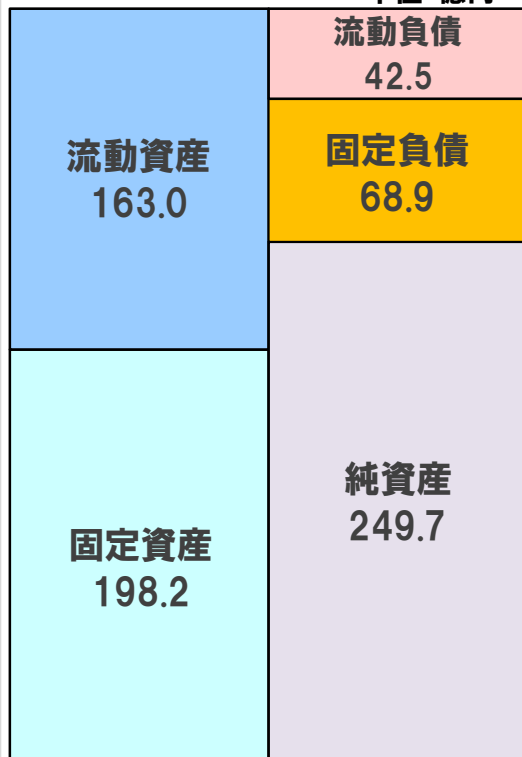


- 売上高は、前期比 $\Delta 0.0$ 億円で前期並み。
- セグメント利益は、新たに取得した収益物件の償却費負担により、前期比 $\Delta 0.6$ 億円。

3. 連結貸借対照表

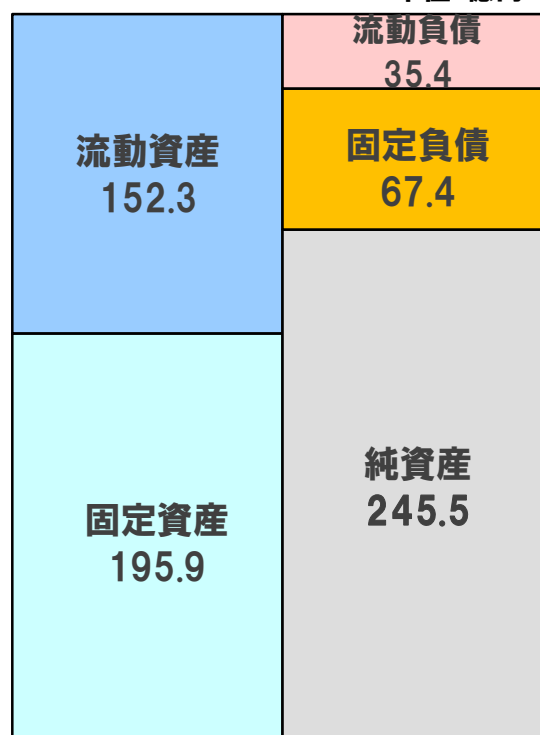
2021年3月末

単位: 億円



2021年9月末

単位: 億円



・主な増減要因

■ 流動資産 Δ 10.6億円

売掛金 Δ 13.7

現金及び預金 +2.2 等

■ 固定資産 Δ 2.2億円

有形固定資産 Δ 1.5

無形固定資産 Δ 1.5

投資その他の資産 +0.8 等

■ 流動負債 Δ 7.1億円

支払手形及び買掛金 Δ 5.7

その他 Δ 1.3 等

■ 固定負債 Δ 1.4億円

退職給付に係る負債 Δ 1.5 他

■ 純資産 Δ 4.2億円

利益剰余金 Δ 5.3

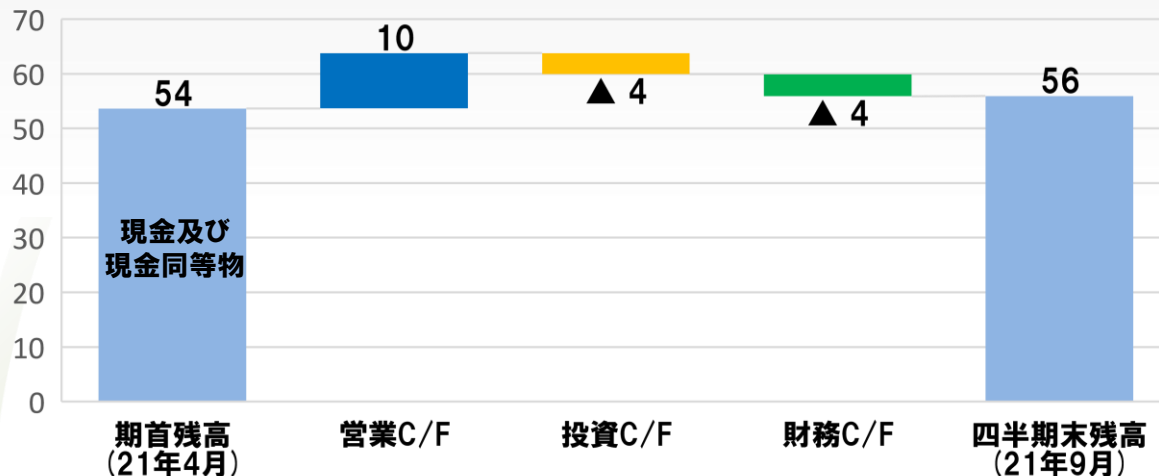
その他有価証券評価差額金 +0.5

退職給付に係る調整累計額 +0.2 等

4. 連結キャッシュ・フロー

2021年度第2四半期

単位:億円



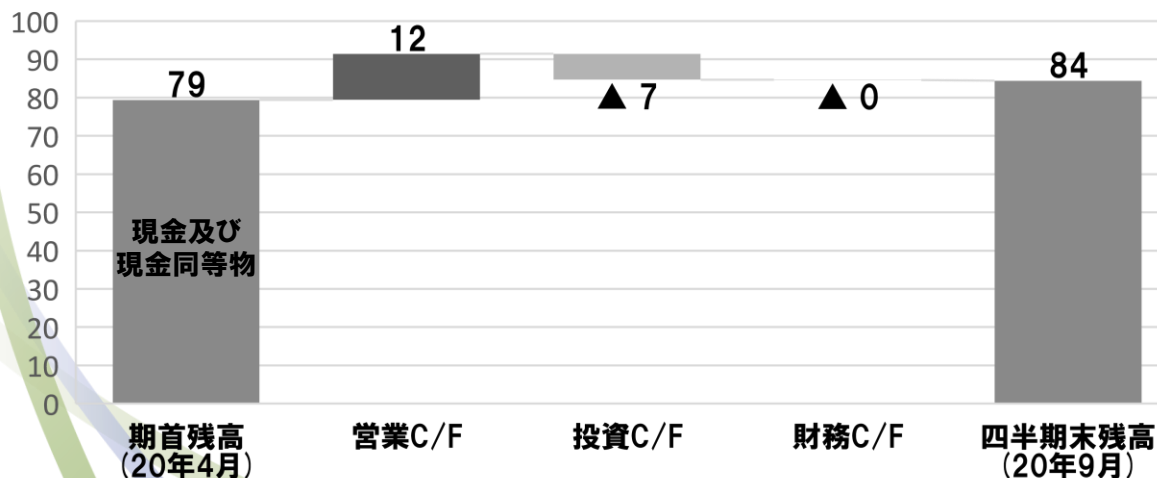
2021年度第2四半期

連結キャッシュフロー主な内訳

■ 営業C/F	
税金等調整前	△ 1.5
四半期純損失 (△)	△ 1.5
減価償却費	+ 5.4
売上債権の減少額	+ 13.8
棚卸資産の増加額	△ 3.3
仕入債務の減少	△ 5.8
その他	+ 1.5
■ 投資C/F	
有形固定資産の取得による支出	△ 2.5
無形固定資産の取得による支出	△ 1.4
その他	+ 0.0
■ 財務C/F	
配当金の支払額	△ 4.0
その他	△ 0.0

前年(2020年度第2四半期)

単位:億円



2021年度 通期業績予想

5. 通期業績予想・配当予想

- 2021年5月14日発表の通期業績予想及び配当予想に修正はありません。
- 中間配当は遺憾ながら見送らせていただきます。

業績予想

(単位：億円)

	前年(20年度) 通期	2021年度 通期	増減
	実績(連結)	予想(連結)	
売上高	217.1	242.0	24.9
営業利益	△9.7	2.0	11.7
経常利益	△9.0	3.0	12.0
当期純利益	52.3	2.5	△49.8

配当予想

(単位：円)

	前年 (20年度)	21年度	増減
	実績	予想	
中間配当	0.0	0.0	-
期末配当	40.0	10.0	△30.0
合計	40.0	10.0	△30.0

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。特に世界的な半導体不足により、当社主力商品の部品調達に遅延が発生した場合、その影響を受ける可能性があります。

6. 投資予想

(単位：億円)

	2020年度	2021年度	前期比
	通期 実績（連結）	通期 予想（連結）	
有形	94.3	6.9	△87.4
無形、他	7.8	1.1	△6.7
設備投資 合計	102.1	8.0	△94.1
研究開発費	18.8	16.6	△2.3
減価償却費	7.3	11.3	4.0

- ・設備投資：有形△87.4億円は、前期には新規収益物件の取得88.0億円の取得があったため。無形、他△6.7億円は、前期には主力製品の後継機のソフトウェアの計上があったため。
- ・研究開発費：△2.3億円は、前期には主力製品の後継機の開発費があったため。
- ・減価償却費：+4.0億円は、主力製品の研究開発投資による償却費の増加による。

トピックス



7-1. 当社の新たな取り組みのご紹介

■ 2021年9月7日付

メーター自動読み取りソフト「計器読む像」 杉並区役所管内「ワクチン冷凍庫」温度監視を開始

当社は本社が所在する杉並区において、自動読み取りソフトを活用したワクチン冷凍庫の温度監視の運用テストを開始しました。

杉並区役所管内の新型コロナワクチン集団接種会場にある「ワクチン冷凍庫」(8カ所/9台)において、冷凍庫の常時自動監視を行うことで、担当者の負担減、急なトラブルによるワクチン廃棄の防止に貢献いたします。

ワクチン接種の現場においては「保管時に電源トラブル等で冷凍庫内の温度が上がり、ワクチンを廃棄せざるを得なくなった」といった事例が報告されていました。これを防ぐために、これまでは担当者の方が定期的に目視確認を行う等して管理を行っていましたが、これは大きな負担となります。

今回の自動監視の導入により、その負担が軽減されるとともに、早朝や夜間のトラブルも早期に察知することで、ワクチンの廃棄を防ぐことができるようになりました。



USBカメラを通じて冷凍庫の温度表示を自動で読み取り、冷凍庫内の温度が正常範囲を超過すると担当者にメール通知がされる仕組みとなっています

7-2. 当社の新たな取り組みのご紹介

■ 2021年9月8日付

ハイブリッドクラウドPBX「Frespec-Link powered by INNOVERA」の提供を開始

当社は、株式会社プロディライトが開発・提供するクラウドPBX技術を基盤としたクラウド電話システム「INNOVERA(イノベラ)」と連携するIP電話ソリューションシステム「Frespec-Link powered by INNOVERA」の提供を開始しました。

「Frespec-Link」は、当社が展開するオンプレミス※のIP対応ビジネスホン「Frespec」に、「INNOVERA」を連携させ、オンプレとクラウド両方の特性・メリットを最大限に活かすことができるハイブリッドクラウドPBXシステムです。このことによりテレワーク対応やBCP対策など今まで以上に柔軟に対応できるようになります。

当社とプロディライトは働き方改革、withコロナ、テレワークへの対応、さらにDX時代に相応しい新しいソリューションを提供してまいります。

※ オンプレミス (on-premises) : 使用者が管理している施設の構内に機器を設置して運用すること。



Frespec-Linkのイメージ

株式会社プロディライト

本社	大阪府大阪府中央区高麗橋3-3-11
代表取締役社長	小南 秀光
資本金	99,495,000円
設立年月日	2008年6月4日
事業内容	クラウドPBXを基盤としたシステム開発 販売事業、API連携事業、通信事業、 Yealink SIP電話機の日本総代理店・販 売事業、新規支援事業。

7-3. 当社の新たな取り組みのご紹介

■ 2021年11月4日付

Webブラウザであらゆる人を繋ぐ新感覚コミュニケーションサービス「Sharewind」を提供開始

sharewind 離れていても、「風(wind)を共有(share)」しているかのような安心感や一体感を共有

当社は2021年11月8日(月)よりWebブラウザを介したコミュニケーションサービス「Sharewind(シェアウインド)」の提供を開始します。

「チャット」「Web会議」「カフェ機能(予約のいらぬWeb会議)」「プロジェクト管理」といったコミュニケーションに必要な機能をワンストップで備え、「いつでも・どこでも・簡単に」ユーザー間でコミュニケーションをとることが可能です。

ビジネスシーンにおいては、テレワークによって顕在化した「タスクの正確な進捗管理」や「雑談減少による帰属意識低下」といった新たな課題の解決に役立ちます。

